

(7) 2010年3月29日 月曜日



就業開始時には各人が1日の作業目標を確認する朝礼を実施している

障がい者雇用

アイエスエフネットは、グループ全体の大義として「Eco&Employmnt（環境保護と雇用創造）」を掲げている。渡邊幸義代表取締役は「限り有る資源の有効活用と次世代の働く環境の創造を目指している」という。

雇用創造という点では

働きやすい環境創出

IT特化のISFネットハーモニー

「5大採用」を掲げ、「三ア」という、働くことに制限のある人が、働くことができる労働環境を創造しよう」と働きかけている。

その一環として、障がい者に働く場を提供する「アイエスエフネットハーモニー（ハーモニー）」を2008年1月に設立、同年3月に特例子会社に認定された。業務内

書種別にとられない混同型の雇用形態を取っている。それぞれの同じ業務に従事し、お互いを補完し合いながら仕事を遂行していく。9時30分の就業開始時に、全員が一人ずつ朝のあいさつと本日の作業目標、行動目標を宣言する。

「アイエスエフネットハーモニー」は現在、13名の障がいがある従業員と5名のスタッフが働いている。従業員の中には、身体に障がいがある者3名、知的な障がいがある者6名、精神に障がいがある者4名と、全国でも珍しい障

容はITに特化している点がポイントだ。ハーモニーは現在、13名の障がいがある従業員と5名のスタッフが働いている。従業員の中には、身体に障がいがある者3名、知的な障がいがある者6名、精神に障がいがある者4名と、全国でも珍しい障

言する。声を出して自己をアピールすることで、1日の作業を明確に意識するわけだ。これまでに離職した人はごくわずかということから明らかなように、通常の企業と同様に従業員が勤労意欲を高めるための取組みが功を奏しているようだ。

「昨年は延べ1千名の方に来社していただいた」という。さらに、毎月1回は他のアイエスエフネットグループの従業員が来社して就労体験会を実施している。「グループ従業員がハーモニー従業員と共同作業し、様々な視点を身に付けてほしい」という試みという。

「アイエスエフネットハーモニー」は現在、13名の障がいがある従業員と5名のスタッフが働いている。従業員の中には、身体に障がいがある者3名、知的な障がいがある者6名、精神に障がいがある者4名と、全国でも珍しい障